

提携先	(有)月山パ°イットファ-ム	記入日	2008/8/28
登録消費材名			

**・ これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など**

- ・ 消費材のクオリティ向上 ~ 異物混入の撲滅 ~

製造中の異物混入の撲滅

毛髪対策としてローラーがけと服装チェック頻度の向上、1時間毎のローラーがけを行い、製造上の異物混入対策としてこれまでの事故事例をもとに、異物混入につながる恐れのあるものの使用停止を行ってきたが、毛髪混入がまだ撲滅できていない。基本を徹底することと、作業工程の見直しをしてきたが完全な成果を得ることができないでいる

原料由来の異物の混入対策

これまでも洗浄の工程を増やし全体の発生件数は減少しているが、原料由来の虫などの重大な異物混入を撲滅できていない。洗浄工程を増やすことは味の低下にもつながるため、洗浄機器の再考を含めて工場を目指してきた。

- ・ 記録の整備

各種記録を毎年充実させてきた

**・ 前年に努力したことへの評価(成果や課題)**

異物混入、とりわけなくすることが難しい毛髪及び原料由来の異物混入撲滅を目標として、他社のノウハウを導入して日常的なリスク軽減に努めた。

年間を通して撲滅には至らなかったが、どちらも件数を減らすことができた。

また、老朽化した機材の破損などにより異物混入につながる資材の更新を行った。

しかし、撲滅にはいたっていない。また、設備の老朽化、事故が減ったことによる慢心が次の問題を引き起こしかねないため、これからの意識高揚が必要。

また、床面の回収は実施できなかったため、今年度の課題とする。

**・ 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標**

自主管理監査制度のもとで行われた自主管理マニュアルを実施し、製造の工程管理の高度化に努めたい。また、その際に1年ですべてを網羅できない場合は、順次進行できるよう、体制を構築したい。

そのため、管理者と若手でチームの構築を目指す。

原料栽培から始まってトータルでのCO<sub>2</sub>排出量の削減を目指し、バイオガスの利用実験を行う。